

学年	3 学年	実施期間	5 月 1 8 日 (月) ~ 5 月 2 2 日 (金)
----	------	------	-------------------------------

教科	科目名	単元又は題材	学習の目標	課題等	評価について
国語	現代文 B	小説『美神』	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説を読んで、登場人物の性格や心理を的確に捉え、内容について深く理解している。</li> <li>作者や表現についての知識を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『美神』プリント①～⑥をやる。プリンターのある人はうち出したプリントに記入。ない人はHPやGoogleclassroomに載せたPDFファイルを見て自分で解答したものをレポート用紙(A4サイズ)でやっておくこと。提出については後日指示する。</li> <li>*クラス・出席番号・氏名を忘れず、左上ホチキス留めしておくこと。</li> </ul>	プリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲、書く力、読む力、知識理解)
	古典 B	『大晦日は合はぬ算用』	古典文学・近代(江戸時代)文学に触れ、その価値観や美観を知る。	本文プリントに、語句プリント・教科書の脚注を使い、現代語訳せよ。登校した日に提出せよ。	提出したプリントから、「読む力」の観点評価をする。小テストの実施もあり得る。
	国語表現	小論文	相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書くための言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。	(前回同様) 新型コロナウイルスの蔓延で、次の①～③における問題点と解決法について、後日論述できるよう、準備のためのメモを作りなさい。[メモは簡条書き。レポート用紙3枚まで。全て自筆。参考文献(ネット上のものを含む)については、出典を明らかにし、引用部分に必ず下線(傍線)をひいておくこと。] ①自分②日本③世界(5月27日以降、登校した際に提出。)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ノートの提出状況・解答状況(誤答に対し、答え合わせだけでなく、正答をきちんと記入して、勉強しているかなど)で評価。(関心・意欲・態度、書く能力・知識・理解)</li> <li>2. 提出は後日。提出後、評価する。</li> </ol>
地理歴史	世界史研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環大西洋革命とパクス=ブリタニカ</li> <li>3 フランス革命とナポレオン帝政#2</li> <li>○近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家</li> <li>1 ウィーン体制と1848年の革命#1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ナポレオンの登場した時代背景について、自分の考えと教科書等の記述を比べながら理解する。</li> <li>○ナポレオンの勢力拡大が、その後のヨーロッパ諸地域に与えた影響について考える</li> <li>○ウィーン体制の意義と問題点について、自分の考えと教科書等の記述を比べながら理解する。</li> <li>○これらの歴史的事項に関する出来事や人名などの知識を習得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書p. 259～266を読み、次の問いについて調べたり考えたりしたことをまとめる。</li> <li>①ナポレオンの権力掌握と勢力拡大の過程を「国民や国家の統合」という視点から。</li> <li>②ナポレオンの影響で起きたヨーロッパ諸地域の改革についてまとめる。</li> <li>③ウィーン体制の意義と問題点について、自由・平等、社会の安定などの視点からまとめる。</li> </ul> <p>*詳細は、G Suiteの指示を参照する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。</li> <li>・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度)</li> <li>・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用してレポートを作成している。(思考・判断・表現)(資料活用の技能)</li> <li>・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)</li> </ul>
	日本史研究	近代国家の成立 近代国家の発展 近代産業の発展と近代文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治初期の外交政策について、欧米諸国への対応とアジア諸国への対応の違いを多角的にとらえる。</li> <li>・国会開設要求の運動などに見られる国民の政治的関心の高揚と挫折の過程について考察する。</li> <li>・日米和親条約・修好通商条約締結、開港による経済・社会の情勢変化などを、資料を用いて理解する。</li> <li>・日清・日露の両戦争を当時の国際環境を踏まえて理解する。</li> <li>・資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して考察する。</li> <li>・近代文化の特色を資料を参考に理解する。</li> </ul>	<p>4 ステージ演習ノートP112～133</p> <p>*提出は演習ノートに直接書き込んでも、レポート用紙などに記入しても構わない。</p> <p>*G Suiteも確認してみてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度)</li> <li>・学習の目標にある事項について、諸資料を適切に活用し考察している。(思考・判断・表現)(資料活用の技能)</li> <li>・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)</li> </ul> <p>「4ステージ演習ノート日本史B」の課題を行い授業再開後に提出。確認テスト等で学習状況を確認する。</p>

	地理B	地理情報と地図	様々な種類の地図の活用や、地理情報の地図化などの学習を通して、現代世界の地理的事象をとらえるための技能を身につける。	・教科書P6～9を読みGPSとGISの違いと地図の歴史による世界観の広がりをもとに整理する。 ・教科書P13を読み各図法の特徴をノートに整理する。	ノートの提出状況と整理内容により評価する。 (関心・意欲) (思考・表現) (資料活用) (技能) (知識・理解)
公民	政治経済	民主政治の基本原則	人権の保障、国民主権、議会制民主主義、権力分立、法の支配など民主政治の基本原則などについて理解を深める。	教科書P4～19をよく読み、休業期間中の新聞報道やネットニュースの記事の中から人権・国民主権・議会制民主主義・権力分立がテーマとなりうる記事内容についてレポート2枚以上にまとめる	レポートの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・思考・表現・資料活用) (技能) (知識・理解)
	現代社会研究	・現代国家と民主政治 ・日本国憲法の基本的性格 ・日本の政治機構と政治参加	民主政治における個人と国家について考察し、政治参加の重要性と民主社会で生きる倫理についての自覚を深める。	日本国憲法にかかわり、「精神の自由」をめぐる争われた裁判の例を2つレポートしましょう(訴訟名・精神の自由にかかわる理由・訴訟に至るまでの概要・裁判所の判断・あなたの考え)。(前回と同じです)	・政治に積極的に興味を示している。(観点1) ・人権の諸課題について考察している。(観点2) ・民主政治に関する資料を活用している。(観点3) ・民主政治の基本原則を理解している。(観点4)
数学	数学Ⅲ	数列の極限 無限等比数列 無限等比級数	○無限数列、無限等比数列の収束・発散について理解する。 ○無限等比級数が収束する条件を理解し、その和を求めることができる。 ○いろいろな無限級数の収束、発散を調べることができる。	数学Ⅲの教科書P91～P110の例題および問をノートまたはルーズリーフに解く。(5月の課題です。) 詳しくはG Suiteを参照してください。	課題内容について ・問題を解く際に必要な数式が書かれているか(技能) ・要点が抑えた解答ができていないか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度)
	数学応用研究	空間ベクトル	○平面と同様に、空間においてもベクトルを考えることができることを理解する。 ○空間のベクトルについても内積・位置ベクトルなどを定義し、いろいろな図形の問題に応用できる。	数学Bの教科書P87～P103の問をノートまたはルーズリーフに解く。(5月の課題です。) 詳しくはG Suiteを参照してください。	課題内容について ・問題を解く際に必要な数式が書かれているか(技能) ・要点が抑えた解答ができていないか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度)
	理系数学研究	I・A+II・B basic	○数学Iの応用問題の解き方をみにつける	リンク数学演習I・A+II・B P66～P77の問を解く。	課題内容について ・問題を解く際に必要な数式が書かれているか(技能) ・要点が抑えた解答ができていないか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度)
	生物	刺激の受容	受容器で刺激(情報)が受け取られる仕組みを視覚器と聴覚器を中心に理解する。	①教科書P224～232を参照し、Google classroomに載せたPDFファイルの課題プリントに取り組むこと。 プリンターのある人は課題を印刷し解答を記入すること。ない人はノートまたはルーズリーフ(A4サイズ)に解答を記入し提出する。 ②今までの未提出課題も同時に提出すること。 *クラス・出席番号・氏名を忘れず、左上ホチキス留めして提出すること。	プリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解)

理科	生物研究	代謝とエネルギー・発酵 ・光合成	代謝における発酵のしくみを理解する。また、光合成についてその詳細なしくみを理解し、光エネルギーが化学エネルギーに変換されることを理解する。	①教科書P72～83を参照し、Google classroomに載せたPDFファイルの課題プリントに取り組むこと。 プリンターのある人は課題を印刷し解答を記入すること。ない人はノートまたはルーズリーフ（A4サイズ）に解答を記入し提出する。 ②今までの未提出課題も同時に提出すること。 *クラス・出席番号・氏名を忘れず、左上ホチキス留めして提出のこと。	プリントの内容、提出状況で評価する。（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解）
	物理研究	運動量、力積、等速円運動	力学分野における力のはたらき方や法則をを理解し、現象を科学的にとらえる力を身に付ける。	アクセスノート物理P14～23をノートまたはルーズリーフに解くこと。（5月29日まで） （前回と同じ）	プリントの内容、提出状況で評価する。（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解）
	化学研究	○化学平衡 ・可逆反応と化学平衡 ・化学平衡の移動	○可逆反応と化学平衡についてその関係を理解し、平衡の移動とその原理および条件変化に伴う移動についても理解する。	○化学の教科書P102～111を読み、HPに載せた課題プリントに取り組むこと。プリンターのある人は課題を印刷して解答を直接記入してかまわない。ない人はノートまたはレポート用紙（ルーズリーフ）に解答を記入して提出する。 【提出時の注意】 必ず「クラス」「出席番号」「氏名」を表記する。レポート用紙（ルーズリーフ）は左上にホチキス留めをする。これまでの課題も同様の処理をしておくように。	○前週の評価基準をもとにプリントの内容、提出状況で評価する。（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解）
保健体育	体育	○体育理論 2単元 運動・スポーツの学び方	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解すること。	保健体育の教科書（現代高校保健体育）P. 136～156の中から興味のあるテーマを決め、レポートを作成する。  テーマの例（教科書の単元から抜粋） スポーツの技術と戦術。技能の上達過程と練習。効果的な動きのメカニズム。技能と体力。体力トレーニング。運動やスポーツでの安全の確保。 レポート作成にあたって 1. A4サイズ。枚数は表紙を入れて2枚以上。表や図の挿入など、書式自由。 2. 表紙をつけること（テーマ、学年、クラス、番号、名前） 3. 手書きであること 4. 考察（感想や考えたこと）を入れること 5. レポートの最後に「参考文献」を入れること	レポートの内容により、「知識・理解」「思考・判断」の観点で評価する。 【評価規準】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、必要な情報を比較したり、分析したりしてまとめた考えを説明することができる。（思考・判断） ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、書き出すことができる。（知識・理解）  提出：学校再開後・提出 （こちらから指示します）
芸術	音楽総合	○好きな音楽を紹介しよう	○自分の好きな楽曲に対して意欲的に分析を行い、その楽曲のもつよさや美しさを他者に伝える。	○プリント「好きな音楽を紹介しよう」を作成しましょう。4月分の休校中の課題より、PDFをプリントして①～③を記入・作成しましょう。 ③のフリップと原稿については、用紙の種類は自由です。最初の授業で点検します。	○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・楽器や音楽を形作っている要素に関心を持ち、意欲的にレポート作成に取り組んでいる。（関心・意欲・態度） ・音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じしながら鑑賞している。（鑑賞の能力）
	美術総合				

外国語	コミュニケーション 英語Ⅲ	Lesson2 Food Culture (前回と同様です)	○地域よっての主食の違いや食べ方の違いなど、食に関する異文化を英文で理解することができる。 ○聞き手に気持ちや情報が伝わるように本文を発音することができる。	教科書L2の英文を書き、その下に日本語訳を記入する。またそれぞれのパートの問題 (P33, 35, 37) も解く。またP38、P39の問題も解く。ルーズリーフかレポート用紙に記入する。今度登校する時に、今までの課題と合わせて提出する。	○英訳と問題の解答を次の評価基準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・食に関する異文化について、正しく理解して、日本語に訳せている (理解の能力) ・指定された範囲の英文を書き、最後まで日本語訳できている (関心・意欲・態度)
	英語表現Ⅱ	なし			
	英語会話	分野別 1 0min. トレーニング ブック 第4回から第6回 pp. 5-7	日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解することができる。	分野別 1 0min. トレーニングブックの第4回から第6回までをCDを聴いて解答を書き、最初の授業で提出すること。冊子の裏面に氏名等を記入しておくこと。前回提示した課題に続いて、この課題に取り組んでください。前回の分 (第1回～第3回) がまだできていない人は、それも完成させること。	課題内容について ・CDの音声を正確に聴き取れているか (技能) ・正確なスペルで解答が書けているか。 (知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか (関心・意欲・態度)
	英文読解	Section 2	○問題解答を中心に、英文の内容把握に積極的に取り組み、学んだ知識を活かしつつ体系的に英文を理解する。 ○テーマに関する内容や知識に自ら興味を持って理解を深める。 ○受動態に注目し、英文の流れをつかむ。	Section2を、Intro1~3と同じ要領で読み、問題を解き、マスターノート (p. 20~23) を完成させる。休校期間中に提出する場合は、解答したマスターノートの該当ページをコピーし (レポート用紙かルーズリーフも可)、記名の上、提出してください。Intro1~3から段階的にG-suite上で解答例を載せていくので答え合わせも行ってください。	○レポートの内容・振り返りを次の評価基準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・課題に熱心に取り組む、主体的に学習する姿勢を示している。 (関心・意欲・態度) ・英文の概要を把握できる。 (理解) ・テーマに関心を持ち、言語や文化等についての理解を深めようとする。 (知識・理解)
	英語語法理解				
家庭	子供の発達 と保育	子どもの生活 (食生活)	・子どもの食生活の一つである離乳食を理解する。 ・子どもが食べやすく・栄養のある食品選びをする。	教科書P64ページを参考に、離乳食の献立を立て、実習を行う。 ○主食・汁物・主菜・副菜で考える。 ○該当年齢は、生後9ヶ月～11ヶ月とする。  ※レポートの書き方 ①献立 (主食・汁物・主菜・副菜) ②材料・分量 ③作り方 ④写真添付 ⑤感想	課題の内容を次の評価基準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。  ・献立を立て、実習を行えたか。 (技能) ・実習の内容をレポートに明確にまとめ、振り返りができているか。 (思考・判断・表現) ・月齢に応じた食材選び・子どもの食欲がわく見た目になっているか。 (知識・理解)
情報	社会と情報	4章 コミュニケーションと ネットワーク	・WWWについて学び、ブラウザでWebページを表示する仕組みについて理解する。 ・電子メールの仕組みについて学ぶ。 ・地図情報、動画配信サービス等のインターネットサービスについて学ぶ。 ・転送速度とデータ量の基本的な計算ができるようにする。 ・情報を正確かつ効率的に転送する工夫について理解する。 ・デジタル情報の圧縮について理解する。	教科書準拠問題 (プリントNo. 7)	・WWWについて学び、ブラウザでWebページを表示する仕組みについて理解したか。 ・電子メールの仕組みについて理解したか。 ・地図情報、動画配信サービス等のインターネットサービスについて理解したか。 ・転送速度とデータ量の基本的な計算ができるようになったか。 ・情報を正確かつ効率的に転送する工夫について理解したか。 ・デジタル情報の圧縮について理解したか。 (定期テストで評価します)

総合的な探究の時間	キャリアデザイン	最終学年を迎え、具体的な進路先を決定し、進路の実現を目指す。	卒業後の進路先として具体的に考えている企業、大学、専門学校等について、その特徴をレポートにまとめる。必ず複数の学校、企業について調べることを。(前回提出するように指示が出ていたが、この宿題は提出する必要はありません。)	<p>○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度)</li> <li>・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用してレポートを作成している。(思考・判断・表現)(資料活用の技能)</li> <li>・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)</li> </ul>
-----------	----------	--------------------------------	---	---